

運動方針確立ノ方法ハ決レニ間違ナシ
素ヨリ本部トシテモ先公ノ注意ヲ拂ツテ居ル
質問者 東京合同 野村 某

第一章第四頁(既報議案参照)

「だが吾々にはかくの如くに寡切有の公教政策に
對して積極的闘争の態度に進出するの段階に
入るや過去に於ける右翼に對する吾々自身の
態度を注意深く検討する必要に迫り此の
至つた換言すれば彼等と吾々との對立の性質
を検討するに於て吾々の立場をヨリ明
確にする必要に迫り此に至つた何故や
當時吾々の外部に於て右翼組合主義の指導精
神を執拗に批判しこれと理論的闘争下ること
によつて吾々の進退ハモ實の益を準備しつ
た方々の戰闘的知識階級分子が吾々の視野に
入つて来たからであるト書イテアルカ吾々ハ
其の辨ヲ與ニスルモノテアル即チ戰闘的知識

階級分子カ勞働組合ニ入ツタカラ全線的闘争
ニ轉化シタモノナハナクシテ無産階級解放運
動ノ過程ニ於テハ知識階級ヲモ必要トスル様
ニナツタ様ニ鬼フカ如何

答辯者

國領 伍 一郎

質問者ハ多少誤解セラレテ居ル様ニ思ハレル
本部トシテハ議案ニ書イテアル様ニ信シテ居
ル

4. 質問者 宮城合同 山代 吉藏

理論闘争ノ過程ヲ經ナケレハ無産階級ノ決定
的闘争運動ハ進展シナイト思フ然ルニ「國領氏
ハ吾々ノ意見ト異ナル様ニ説明セラレタ様
ニ鬼フカ如何

答辯者

國領 伍 一郎

私ハ單獨ニ理論闘争カ愚イト謂フ意味ヲ迷ハ
タノテハナクヨリ一屬過去ノ経路ト現在ノ社
會状態ヲ見極メタル上ヨリ一屬有意義ノ運動